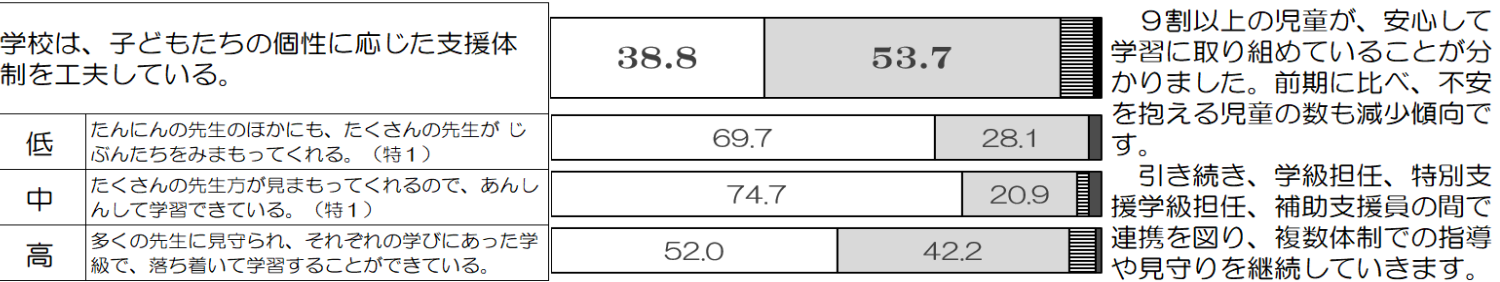
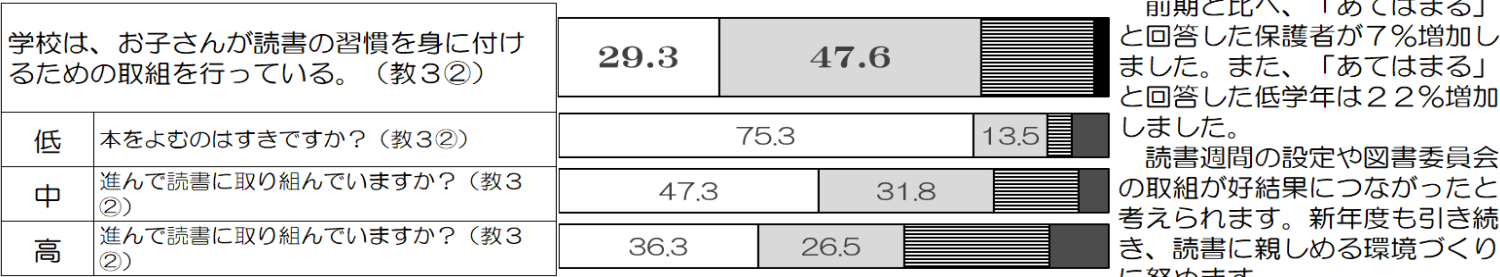
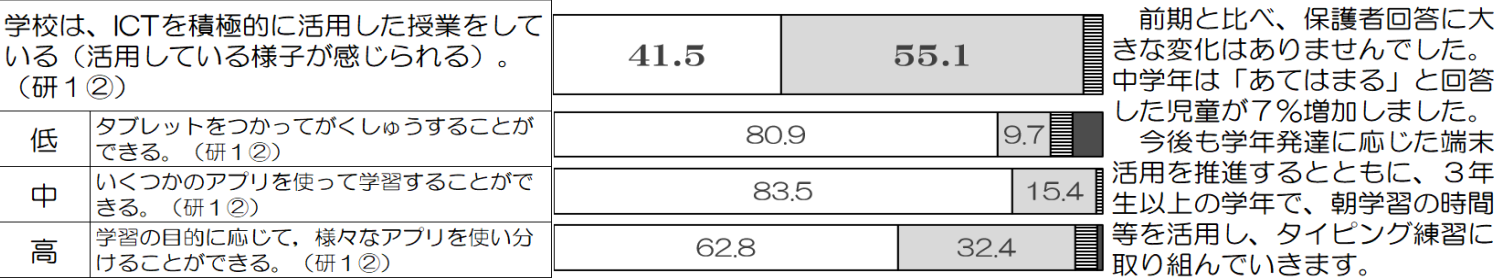
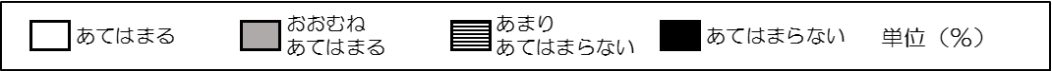
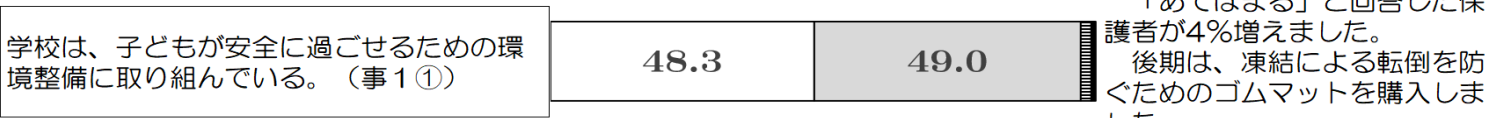
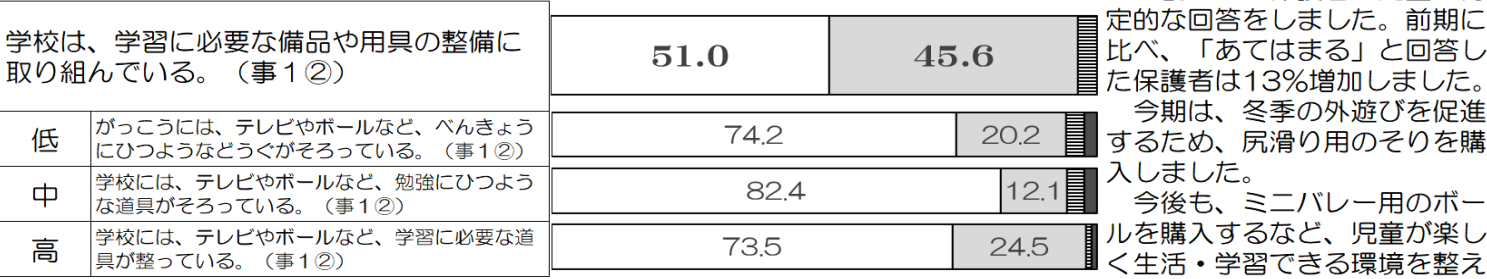




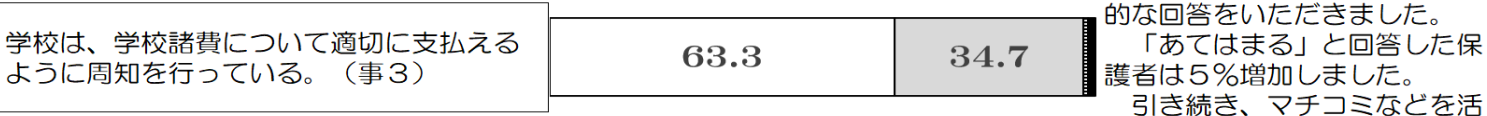
向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
2学期末に、Googleフォームで回答いただきました「教育に関わるアンケート」の結果を基に、新年度に向けた教育活動への取組の方針を検討しましたのでご報告いたします。
保護者の皆様には、教育活動に関わる16の質問と、教育の基盤となるご家庭での様子に関わる4つの質問をさせていただきました。子どもたちが授業でICTを活用する様子は、もやは当たり前の光景となり、学校課題を受けて開始した「アイ愛タイム（仲間づくり・集団づくり）」・「GOGOタイム（運動習慣）」などの取組は2年目を終えようとしています。前期との違いが顕著に数値に表れているところは、考察に示すようにしました。
今後は、方針を基に後期の教育活動に取り組んでまいります。後期も愛宕小学校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



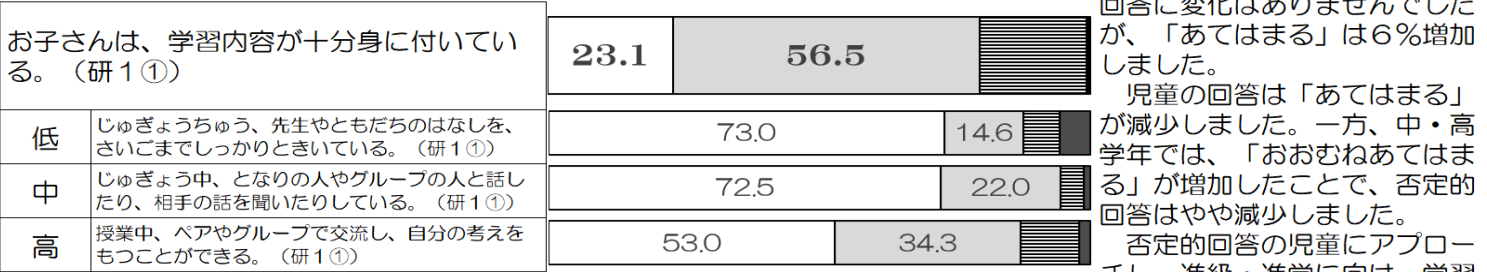
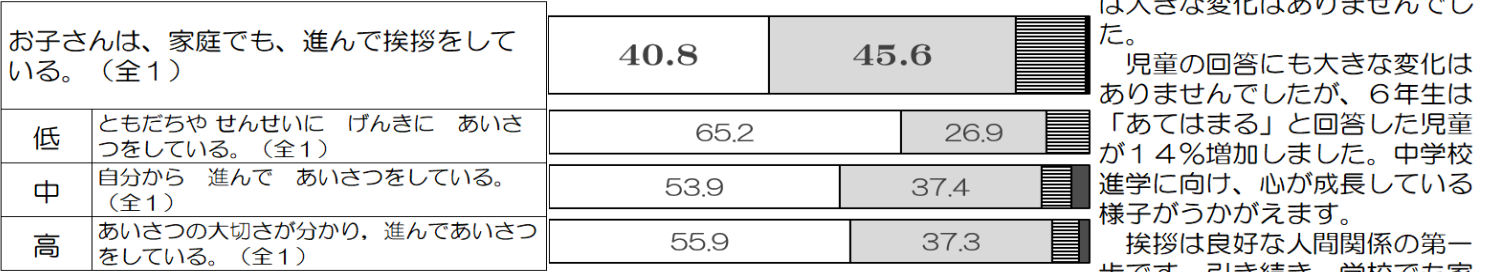
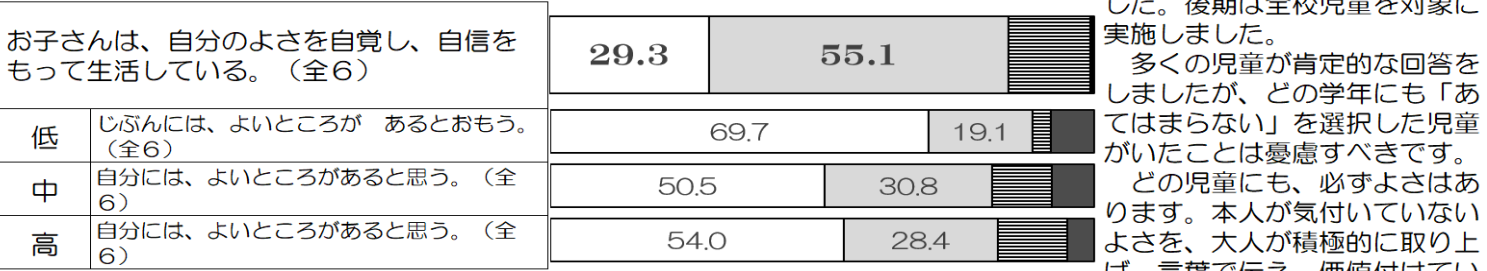
愛宕小学校の教育活動に
引き続き、ご理解とご協力を
よろしくお願いします！



※ 児童への質問はありません。



※ 児童への質問はありません。



お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。(全2)		25.9	48.3	
低	まいにち、おうちでも がくしゅうできている。(全2)	69.7		26.9
中	学年×10分をめやすに、家庭学習に取り組んでいる。(全2)	36.2	41.8	
高	学年×10分を目安に、家庭学習に取り組んでいる。(全2)	32.3	28.4	

前期に比べて、保護者の回答には大きな変化はありませんでした。

児童の回答は、学年が進むほど取組が二極化しています。目標時間が長くなること、学習内容が難しくなることなどが原因と考えられます。

学校では、家庭学習の例を紹介するなど、継続して指導をしていきます。ご家庭でも引き続き、声掛けをお願いします。

お子さんは、学校のきまりを守って生活している。（生1）		46.3	46.9	
低	がっこうのきまりをまもってせいかつしている。（生1）	73.0	21.3	
中	学校のきまりを守って生活している。（生1）	52.7	42.9	
高	学校の決まりを守り、自分から考えて行動できている。（生1）	53.9	40.2	

前期に比べ、全校的に「あてはまる」がやや減少しました。一方、「あてはまる」と回答した保護者は5%増加しました。

自分の行動を客観的に捉えられる児童が増えたため、行動は改善し、自己評価は厳しくなったものと考えられます。

学校では引き続き、きまりについて考える時間や、振り返りの時間を充実させていきます。

お子さんは、家庭でも身の回りの整理整頓を意識して過ごしている。（保3）		9.5	39.5	
低	きょうしつをきれいにしようとするのでそうじをしている。（保3①）	76.4	18.0	
中	自分がたんとうしているせいそう場所をきれいにしようと掃除をしている。（保3①）	82.4	14.3	
高	学校を大切にするという意識をもち、生活したり掃除をしたりしている。（保3①）	64.7	26.5	
低	つくえやロッカーの中をきれいにしている。（保3②）	79.8	13.5	
中	机やロッカーの中を整理整頓している。（保3②）	68.1	24.2	
高	整理整頓の大切さを理解して生活している。（保3②）	63.7	28.4	

保護者の回答は前期と比べ、
ほぼ変化がありませんでした。

清掃については中・高学年の肯定的な回答が増加しました。高学年は「あてはまる」と回答した児童が12%増加しました。整頓については、低・中学年で「あてはまる」と回答した児童の割合がやや減少しました。

自分のことが自分でできることは、今後の自立に不可欠な力です。引き続き、学校でもご家庭でも整理整頓を呼び掛けていきましょう。

お子さんは、学校に楽しく通うことができて いる。（生2）		53.1	39.5	
低	アイあいタイムなどで、ともだちと かかわることを たのしむことができている。（生2）	75.3	21.4	
中	アイ愛タイムなどをとおして、友だちとの交流を楽 しむことができている。（生2）	75.8	14.3	
高	アイ愛タイムなどを通して、いろいろな人の話を聞 いて交流することを 楽しむことができている。	66.7	26.5	

9割以上の児童が、肯定的な回答をしました。

「アイ愛タイム（構成的グループエンカウンター）」は、本音や感情の交流ができる親密な人間関係を築くための手法です。

引き続き実施し、心理的な安全性を高め、安心して楽しく登校できる学級・学校を目指します。

お子さんは、友達と良好な関係を築き、安心して学校生活を送っている。（対1）		45.6	47.6
低	ともだちとなかよくでき あんしんしてがっこうに きている。（対1）	76.4	15.7
中	友達となかよくすごすことができ 安心して学校にかよっている。（対1）	70.3	23.1
高	友達との関係がよく、安心して学校に通っている。（対1）	67.6	25.5

9割以上の児童が、肯定的な回答をしました。

一方で、僅かですが、否定的な回答が増加しました。友人間のトラブルなどを経験し、年度当初にはなかった不安が生じたものと考えられます。

学校では、生活アンケートやSOSシートなどを活用し、早期発見に努めるとともに、児童に寄り添い、一人一人の成長を支えています。

お子さんは、積極的に体を動かしたり、運動をしようとしていたりしている。（保1）		40.8	42.2	
低	たいいくのじかに、すすんでうんどうをしている。（保1①）	82.0		10.1 
中	体育の授業で、めあてをもち取り組んでいる。（保1①）	71.4		25.2 
高	体育の授業で、自分のめあてを達成するために、工夫して取り組んでいる。（保1①）	54.9	37.3	
低	やすみじかに、すすんでからだをうごかしている。（保1②）	75.3		18.0 
中	休み時間に、すすんで体を動かしている。（保1②）	43.9	40.7	
高	休み時間に安全に気をつけ、進んで体を動かしている。（保1②）	52.0	32.4	

運動習慣が身に付いているかを判断する項目です。

「体育の授業」については、9割以上の児童が、肯定的な回答をしました。一方、「休み時間」については、前期に比べ、やや肯定的回答が減少しました。冬季なりグラウンドが使用しにくくなったことが原因と思われます。

学校では、引き続き、体育の授業の質の向上に努めます。また、体力テストの結果分析を進め、年間を通して運動能力の向上に取り組んでいきます。

お子さんは、事故やけがなど、安全に気を付けて生活をしている。（生3）		44.2	50.3
低	あぶないことをせず、けがなどにきをつけて せいかつすることができている。（生3）	83.1	10.1
中	あぶないことをせず、けがなどに気を付けて 生活することができている。（生3）	67.0	27.5
高	周りをよく見て、けがなどに気を付けて生活 することができている。（生3）	61.8	32.3

9割以上の児童が、肯定的な回答をしましたが、「あてはまらない」と回答した児童が一定数いました。

学校では、日常的な安全指導や校外巡視を継続するとともに避難訓練を行う理由などをしっかりと伝えていきます。

また、次年度は、努力義務化された自転車のヘルメット着用などについて、情報を発信していきます。

感染症等への対策が適切に行えたかを判断する項目です。

手洗いなど、予防は積極的に行
えていましたが、「風邪等を引い
てしまった」という事実が、否定
的の回答につながったようです。

感染症等の流行の兆しが見えたときには、改めて、マスク着用などの予防を呼びかけていきます。

※ 保護者の皆様への質問はありません。

低	かぜをひかのようににてあらいうがいなどをして、元気に過ごそうとしている。（保2②）	60.7	23.6	
中	かぜをふせぐために手洗いやうがいをして、健康にすごそうとしている。（保2②）	60.4	31.9	
高	自分が健康に過ごすためにどうしたらよいか考え生活している。（保2②）	57.8	28.4	

ご家庭では、早寝・早起き・朝ごはん等、お子さんに正しい生活習慣を身に付けるための声掛け等を行なっている。（保2）		56.5	40.8	
低	はやね・はやおきをしてあさごはんをたべている。（保2①）	67.4	20.2	
中	早寝・早起き・朝ごはんをいしきするなどきそく正しい生活をしている。（保2①）	47.3	40.7	
高	早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣を意識して過ごしている。（保2①）	51.0	30.4	

前期と比べ、肯定的回答の割合に変化はありませんでした。その中で、低学年は「あてはまる」が12%増加しました。一方で、否定的回答をした児童が一定数いました。

学校でも栄養教諭による「食に関する授業」を継続するなど指導に力を入れます。

学校と家庭で力を合わせて「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していきましょう。

ご家庭では、お子さんが家庭学習に適切に取り組むような声掛け等を行っている。（全3）	45.6	46.3
ご家庭では、SNS使用禁止等の学校の約束を確認し、ゲームや動画視聴の時間についてルールづくりを適切に行っている。（全4）	32.7	47.6
ご家庭では、学校からの配付物には必ず目を通し、提出物などは期限までに必ず提出させるようにしている。（全5）	44.2	49.7

家庭学習への声掛けは、前期に比べ「あてはまる」が6%増加しました。引き続き、学校でも指導していきます。

ゲームや動画に関わるルールづくりは、前期に比べ肯定的な回答の割合に変化はありませんでした。しかし「あてはまる」は3.4%減少しました。

タブレットの持ち帰り（宿題や家庭学習への活用）については、学校から、より明確なルールを発信できるよう努めます。